



協同組合による共同受注 取り組み事例

日光建設業協同組合

国道120号 金精道路
春 除雪

1. 日光建設業協同組合の紹介

事業協同組合とは

- ・ 中小企業者が互いに協力し、相互扶助の精神に基づいて共同で事業を行い、経営の近代化・経済的地位の向上改善を図る。

協同組合のメリット

- ・ 県の認可を受けて設立された認可法人であり、高い信頼性を持っています。
- ・ 組合員同士の連携により人や重機、技術を相互に補えます。
- ・ 単独では受注が困難な大型公共事業等を協同受注できます。
- ・ 対外的PR、地域や行政とも密接にかかわりながら多様な活動が行えます。

組合員 36社
(建設業協会日光支部会員)

出資金

日光建設業協同組合



2. 日光建設業協同組合の沿革・概要

- 設 立 昭和47年6月
- 設立趣旨 日光地区の建設業者の事業協同組合
共同施設の設置・管理運営、組合員の経済的地位の改善、経営・技術の向上、知識の普及教育、情報の提供、組合員の福利厚生
建設工事、設計、調査、維持管理業務等及び管理運営等の共同受注
- 建設業許可 栃木県知事 特定建設業許可 特4第23327号
- 官公需適格組合証明
初 回 平成29年9月28日 関東第35号
第3回 令和 5年9月28日 関東第87号
- 代表理事 榎本美明
- 組合員数 36社
- 職 員 7名
- 出資総額 4,965万円
- 保有財産 日光建設会館 土地245㎡ 建物 鉄骨3階 435㎡
- 関連団体 ◎（一社）栃木県建設業協会 日光支部
◎建設業労働災害防止協会 栃木県支部日光分会
◎日光市建設業組合



3. 地域の公共施設維持管理の課題

①建設業界の課題

- 公共事業の縮減と先の見えない受注環境
- 一般競争入札の普及による受注競争の激化と低価格入札による疲弊
- 技術者や作業員の高齢化と人手不足、若年従業員確保の困難
- 除雪・維持管理等の緊急・時間外作業の優遇処置がない



災害・除雪・維持管理を担うことが困難

②行政の課題

- 行財政改革による予算の縮減・職員の削減
- 事務の煩雑化・法や規則の複雑化
- 維持管理や地元事情に精通した中堅職員の不足
- スマートホンの普及により施設の不備や障害が映像化とリアルタイム配信
- 責任追及の先鋭化と即応要求



行政が維持管理全般をカバーするのが困難

③行政と地域建設業界の抱える課題解決のため

- 公共施設の維持管理を一括して外注し、行政の負担軽減
- 地域に密着した建設業者を組織化し、維持管理の迅速処理
- 業界内の安定した事業の配分



協同組合を活用した維持管理業務委託の取り組み

④維持管理共同受注を受けるにあたって

- 地域に精通した建設会社の組織化
- 組合統括監理体制の整備
- 行政を補完できる維持管理に精通した社員・組合職員の養成
- 組合が安定して運営できる受注量の確保
- 発注者との実施方針の意思統一
- 地域の実情にあった入札契約方式の採用

4. 栃木県建設業協会の取り組み

・平成21年10月

栃木県に協同組合による維持管理業務の共同受注の制度設計を要望

日光設業協同組合の取り組み

・平成21年10月

共同受注のための組織体制の整備（定款変更・建設業許可、職員雇用）

・平成22年4月

一般建設業許可取得

・平成22年10月

日光土木事務所管内「道路及び河川等維持管理統合業務委託受注」（除雪のみ）

・平成24年12月

特定建設業許可取得

・平成25年2月

日光土木事務所管内「道路及び河川等維持管理統合業務委託受注」（維持管理・除雪）

・平成27年9月

関東東北豪雨災害に伴う応急復旧工事 緊急受注

・令和元年10月

台風19号災害に伴う応急復旧工事 緊急受注

5. 協同組合による共同受注に向けて

①事業協同組合の設立

(根拠法令「中小企業協同組合法」)

- 協同して事業を行なうことにより、中小企業者の経営合理化と取引条件の改善
- 共同生産・加工・購買・受注・保証等の共同事業実施
- 4名以上の発起人・出資金募集
- 定款作成、設立総会開催、監督官庁の認可
- 法人登記

②建設業許可の取得

- 経營業務管理責任者、専任技術者の常雇
- 財産的基礎、金銭的信用があること
 - 自己資本（純資産額）
 - 一般 5百万円以上と資金調達力
 - 特定 4千万円以上（資本金2千万以上）
- 4千万円以上の下請発注には特定建設業許可

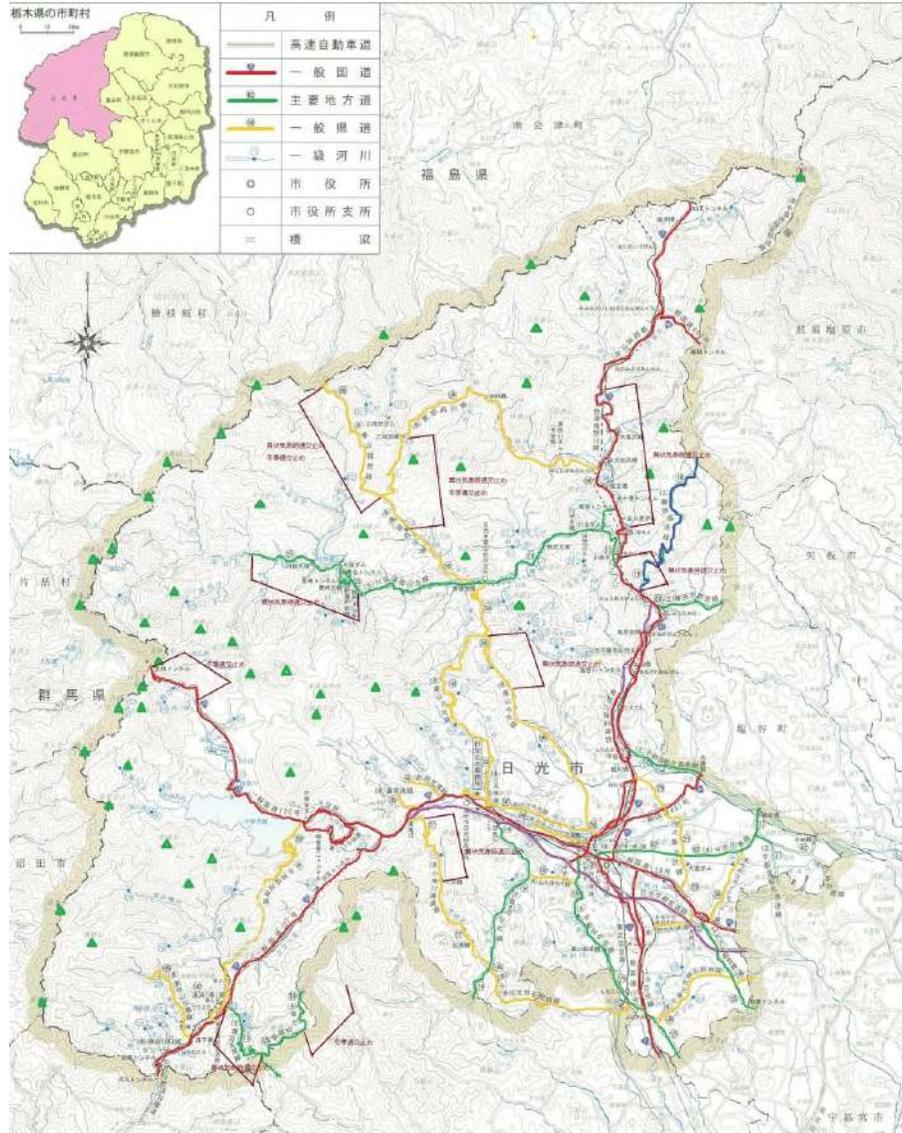
他に必要な手続き

経営状況分析

経営規模評価申請（経審）

一般競争入札参加資格申請（各発注者毎）

日光建設業協同組合の共同受注事業



栃木県日光土木事務所管内の国道・県道、
河川・砂防施設等の維持管理と除雪

- 所管区域 日光市1市 1, 4 5 0 km²
- 管理施設

道 路	40路線	5 0 7 k m
河 川	64河川	4 1 7 k m
砂防施設等		6 1 8箇所
ダ ム		2基
土砂災害危険箇所		1, 1 4 0箇所

業務内容 1

道路・河川パトロール・規制実施

アンダー冠水処置



国道121号
平ヶ崎アンダー
(今市インター入り口)

河川パトロール



田川



清水川

業務内容 2

道路・河川・砂防施設の維持工事



維持工事(舗装修繕)



維持工事(側溝清掃)

業務内容 3

維持補修班・緊急工事



維持作業班の運営



事故対応 国道120号
明智トンネルオイル処理

緊急工事



国道121号 日光杉並木倒木処理



県道黒部西川線 落石処理

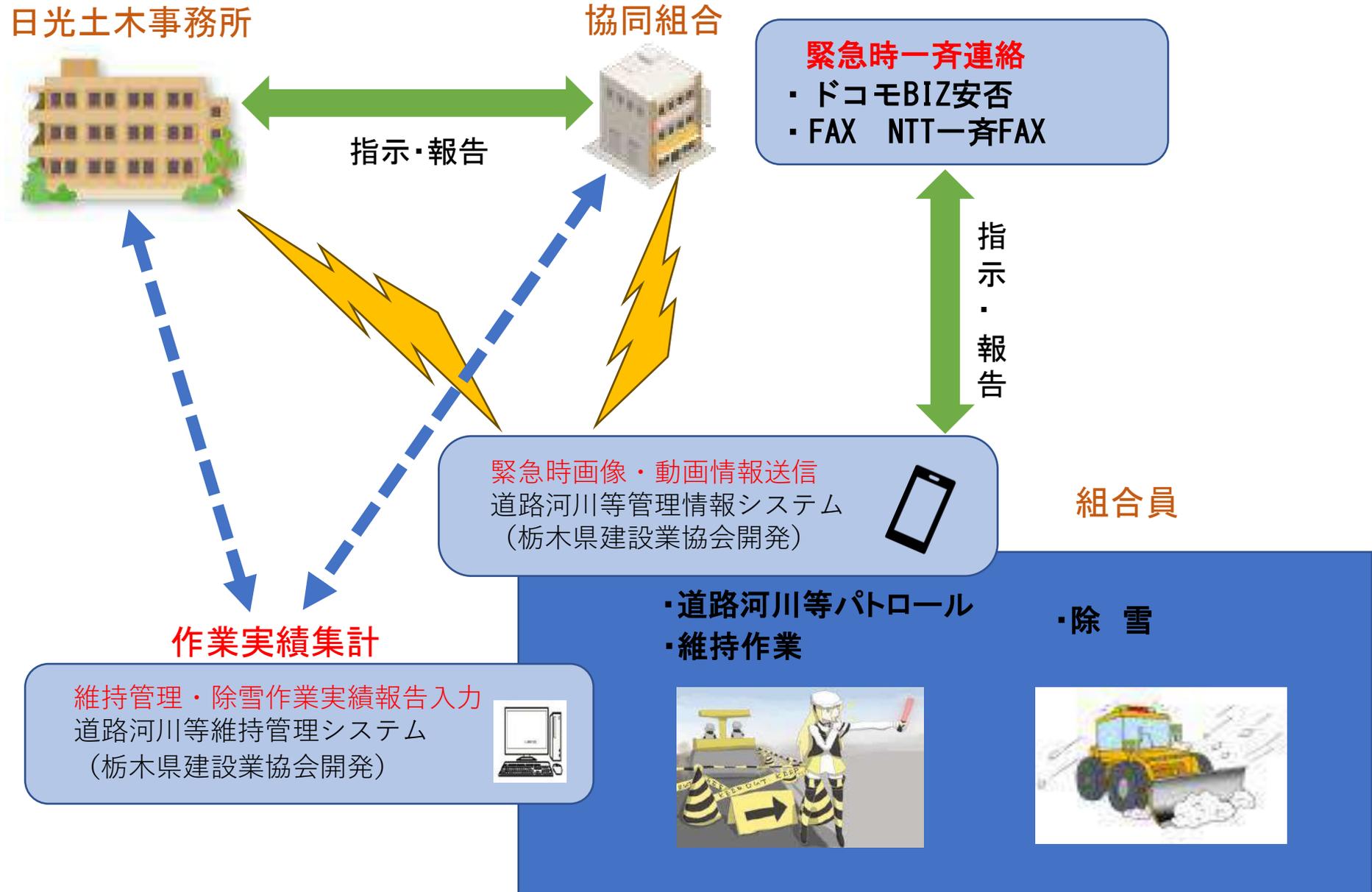
業務内容 4

除 雪

平成26年2月豪雪



維持管理統合業務実施フロー



今後の課題

- 受注先、受注内容拡大に向け組合体制の強化
- 組合員の目的意識向上と連携強化
- 維持管理担当会社の存続と脆弱化の抑止
- 除雪機械の確保、オペレーターの養成
- 小雪時の除雪体制・機械維持経費のリスク低減
(最低保障)